

ビジネスプランの事業化促進を支援! ～KIP重点・継続支援企業「合同報告会・交流会」のご案内～

KIPでは、新規創業に取り組んでいる皆さまや事業転換などのために新たな分野に挑戦している中小企業の皆さまの事業化促進・事業の成功を支援するため、「ビジネス可能性評価」「コンソーシアム事業」「かながわビジネスオーディション」などのさまざまな支援メニューを用意しています。

このたび、これらの支援メニューを活用して新規創業・新事業展開に挑んでいる企業の本年度の取り組みを発表する「報告会」と新たなネットワークづくりのための「交流会」を、次のとおり開催することといたしました。

新たな取引・提携先をお探しの皆さま。支援企業の技術・商品に触れてみませんか。

新規創業・新事業に取り組もうと検討されている皆さま。この会で、事業化のヒントをつかみませんか。皆さまのご来場をお待ちしています。

開催概要

■日時 3月18日(金) 13:00～19:00

■会場 神奈川中小企業センタービル
(横浜市中区尾上町5-80)

■プログラム

○ 講演 13:05～14:20 13F第2会議室

内容 新規創業・新分野進出を成功させたポイント、公的支援の上手な使い方などについて、2人の講師に講演していただきます。

講師 佐々木貞夫氏

<コンピューターポート(株)代表取締役>

木田成人氏

<昭和精工(株)代表取締役副社長>

○ 合同報告会 14:30～17:00 13F第1～3会議室

内容 支援企業の皆さまに、支援を受けている事業の現状と課題などを発表していただきます。

発表企業 右表のとおり

○ 交流会 17:15～18:45 14F多目的ホール

参加者間で新たなネットワークを構築していただくための交流パーティー。

パネル・サンプルを活用して徹底的な議論・商談などを行ってください。

※ 参加費 2,000円(予定)

■パネル・サンプル展示

13:00～19:00 14F多目的ホール

支援企業の事業を紹介するパネルやサンプルを展示します。パネル・サンプルを見ながら商談・情報交換などを行ってください。

合同報告会の発表者(予定)

<新製造技術関連>

- ・服部板金工業(有)
- ・(株)ジェイ・エム・シー
- ・(株)芝技研
- ・(株)リガルジョイント
- ・昭和精工(株)
- ・(株)ディムコ
- ・(株)三興ネーム
- ・(株)テクノラボ
- ・(株)片桐エンジニアリング

<医療・福祉関連>

- ・(株)ホクエツ
- ・(株)アイスリー
- ・エイシン電機(株)

<生活・文化関連>

- ・(株)ベネクス
- ・(株)プロトンコーポレーション
- ・日本イルミネーションシステム(株)
- ・(株)テクノシステムズ
- ・(株)インテリジェントセンサーテクノロジー
- ・お菓子工房サラ
- ・(株)ディ・アイ・エム

<情報・通信関連>

- ・サーボランド(株)
- ・(株)ゼオシステム
- ・(株)ルートレック・ネットワークス
- ・(株)スマイルメディア
- ・(株)アイ・シー・ジー・ビー

<環境・新エネ関連>

- ・(株)ストリートデザイン
- ・イブリダセル(株)
- ・都市拡業(株)

<住宅・建設関連>

- ・リンフォース工業(株)
- ・(株)ワンウィル

経営の先行きに不安を感じたら、まずご相談ください!

～「神奈川県中小企業再生支援協議会」のご案内～

神奈川県中小企業再生支援協議会は、平成15年8月、県内中小企業の再生に向けた取組みを支援するため、「産業活力の再生及び産業活動の革新に関する特別措置法」に基づき、KIPが国から再生支援協議会事業を受託し、設置した公正中立な公的機関です。

企業の再生をお考えの皆さま。ぜひ一度ご相談ください。

※ 平成19年に法律が改正され、当協議会事業は平成28年3月31日まで延長されました。

再生支援メニュー

支援メニューには、窓口相談と再生計画策定支援、計画策定完了後のフォローアップがあります。

① 窓口相談 (無料)

当協議会に常駐する再生支援のスペシャリストが、面談や提出いただく資料の分析から経営上の問題点や具体的な課題を抽出し、課題解決に向けたアドバイスを行います。

※ 窓口相談時には次の資料をご準備ください。

- 決算書 (直近3期分)
- 会社概要がわかる資料
- 資金繰り表 (6ヵ月分)
- 金融機関との取引状況がわかる資料 等

② 再生計画策定支援

窓口相談の結果、再生計画を作成し、金融機関と調整する必要があると当協議会が判断し、相談企業がこれを希望する場合、再生計画策定の支援を行います。

※ 再生計画策定支援は、原則、複数金融機関との調整を行うための支援です。

<再生計画策定手順>

① デューデリジェンス (調査・分析)

当協議会が選出する専門家 (中小企業診断士、公認会計士、税理士、弁護士など) からなる個別支援チームを結成。事業面・財務面から客観的かつ詳細に支援企業を調査し、より具体的な問題点、課題を抽出して報告します。

② 再生計画策定

デューデリジェンスで表面化した問題点、課題等を改善し、関係金融機関に納得してもらえる再生計画を個別支援チームが支援企業と一緒に考え、その策定をバックアップします。

③ 合意形成支援

関係金融機関に再生計画を納得してもらうため、バンクミーティングを重ね、すべての関係金融機関の合意を得られるように調整します。



③ フォローアップ

再生計画策定完了後も定期的に支援企業を訪問するなど、その進行状況を把握し、再生計画がしっかりと実行され、確実に再生が図れるように必要なアドバイスをを行います。

主な再生方法

● リスケジュール

不採算取引先の見直しを通じた販売管理・原価管理の徹底による経費の削減や役員報酬の削減等、実行可能かつ具体的な再生計画を提示することで、複数の金融機関の返済計画を変更してもらう手法です。

● 第二会社方式

旧会社の事業のうち優良な事業の全部または一部を、会社分割あるいは事業譲渡により新会社に承継したあと、旧会社に有利子負債を残しつつ、旧会社を特別清算または破産手続きにより清算する手法です。

※ 主な再生手法以外にも再生手法がありますが、どのような再生手法により再生を図るかについては、デューデリジェンスの結果を踏まえ、検討していきます。

当協議会の実績 (H22. 12. 31日現在)

窓口相談	531件
再生計画策定完了	67件
再生計画策定中	19件

“お気軽にご相談ください”

企業再生は、早期対応と再生に対する経営者の熱意がポイントです。再生支援は関係者以外、非公開で行いますので、安心してご相談ください。



石井允三 統括責任者

● 問い合わせ

神奈川県中小企業再生支援協議会 ☎ 045(633)5143
ホームページ <http://kaigi.kipc.or.jp/saisei/>

日本最大のコンベンションセンター、パシフィコ横浜での初開催となった「かながわビジネスオーディション2011」。今回は、県下最大の工業技術・製品総合見本市である「テクニカルショウヨコハマ2011」の開催期間中の2月3日(木)に開催しました。

当日は、応募総数130件のプラン・アイデアから見事最終審査に残った35件が、プレゼンテーションを実施。そして、各賞を決定しました。

テクニカルショウヨコハマとの同時開催ということもあり、例年以上の300人を超える方々にご来場いただき、大いに盛り上がりを見せた、今回の「かながわビジネスオーディション2011」。

完成度が高く、将来性が期待される最も魅力的なプランに贈られる「神奈川県知事賞」を、(株)海月研究所の「クラゲ廃棄物から抽出した天然素材の高付加価値化による廃棄物の有用化」が受賞したほか、奨励賞3件、団体賞11件、来場者賞1件を決定しました。

なお、全受賞プランなど詳細は3月号でお伝えします。

◆主な受賞プラン(敬称略)

賞名	プラン名	名称or氏名
神奈川県知事賞	クラゲ廃棄物から抽出した天然素材の高付加価値化による廃棄物の有用化	(株)海月研究所
奨励賞	様々な情報から音楽を自動生成する「サウンドセル」技術の販売	(有)ト・ヘン
	湘南スタイル「みかんの木パートナーシップ」	NPO法人湘南スタイル
	海洋生態系教育サービスと市民参加型海洋生態系モニタリングネットワークの構築	水井涼太

●問い合わせ かながわビジネスオーディション実行委員会事務局
(KIP事業化支援部事業推進支援課内)

☎ 045(633)5203 ホームページ <http://kaigi.kipc.or.jp/b-audition/>

小規模企業の設備投資はまずKIPにご相談を

～設備貸与・設備資金貸付制度のご案内～

設備貸与・設備資金貸付制度とは、小規模企業者等の創業および経営基盤の強化の促進に寄与することを目的に制定された、小規模企業者等設備導入資金助成法に基づく制度です。

公的制度という安心性に加えて、設備導入にあたってはKIPが事前の経営診断から事後のアドバイスまで、万全の支援を行います。ご利用いただいた企業の皆さまからも好評を博している制度です。設備導入をご検討の際は、ぜひKIPにご相談ください。

◆設備貸与(割賦販売・リース)と設備資金貸付制度の概要

	設備貸与		設備資金貸付
	割賦販売	リース	
対象企業	製造業・建設業・運輸業等：従業員20人以下 小売業・卸売業・サービス業等：従業員5人以下 特定の条件を満たす従業員50人以下の企業		
対象設備	「経営基盤の強化」や「創業」に必要な設備 (工作機械全般、建設機械、建設車両、特殊車両、IT機器、一部店舗設備等)		
限度額	100～6,000万円		50～4,000万円(原則) 設備購入代金の1/2以内
期間	7年(固定) <元金半年据置>	3～7年	7年<1年据置>
料率/利息	年2.00% (要保証金＝ 設備資金の10%)	1.370～2.965%	無利子

●問い合わせ

資金支援課

☎ 045(633)5066

FAX 045(633)5064

ホームページ

<http://www.kipc.or.jp/>

E-mail

setsubi@kipc.or.jp

今、この企業に注目

企業インタビューシリーズ②④

主に業務用のたれやソースなど調味料の製造、販売を手がける**三和フード**。昨年、KIPの設備資金貸付制度(P3参照)を利用し、新設備を導入。取引先への新たな商品提供方法を実現しました。また、県からは平成22年度の神奈川県優良工場の表彰も受けるなど、取引関係を越えて注目を集めています。そこで、同社の千代間和之社長に最近の事業展開などについて伺いました。



千代間和之社長

Q まず、事業内容についてお聞かせください。

総菜・精肉メーカーやSM（スーパーマーケット）向けに、焼肉や焼鳥、ハンバーグ、丼ものたれやソース、またドレッシングなどを製造しています。当社の一番の大きな特徴は、OEM（相手先ブランドによる製造）、プライベートブランド製品の

提供ですが、その背景にあるのがお客さまの多様なニーズに応えられる製品開発力です。

Q かなり多くの製品を製造しているのでしょうか？

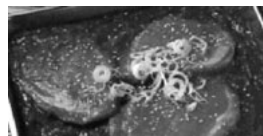
年間約500種類におよびます。お客さまは各社とも、他社とは違ったオリジナルの味付けを求めています。大手メーカーのソースを使っては差別化を図れず、消費者にアピールできないからです。また、製品サイクルも以前より早く、今や3ヵ月くらいとなり、その分多くの製品が必要になります。

Q 味以外のニーズはいかがですか？

もう1つの大きなニーズが小ロットです。製品もすべてがヒットするわけではありませんから、最初は小ロットでいきたいとお客さまは考えます。また、中小メーカーやSMは大手とは販売量が違うので、やはり小ロットを求めます。そうしたニーズに応えられるのも当社の特徴です。

Q 小回りを利かす、機動性は中小企業の強みですね。

はい。そして、もっとお客さまに高回転で効率よく製品を利用してもらいたいと考え、導入したのが「自動スパウト取付充填包装機」です。これはスパウト容器というキャップ付包装容器にも充填可能な装置です。容量も900mlと、従来よく使用していた2L入りボトルの半分以下を実現できます。また、平袋と違い、キャップがついているので、一度にすべてを使い切る必要がありません。さらに、スパ



取引先のさまざまなニーズに応え、製造する調味料は年間約500種類



岩尾 均工場長

KIPの設備資金貸付制度を利用して導入した、自動スパウト取付充填包装機（写真左）とスパウト容器（同右）。「導入後、新規のお問い合わせが増えています」（岩尾工場長）

ウト容器は使い切れれば丸めて、小さくして捨てられます。廃棄という面で見ても従来のボトルより優れています。

Q 設備導入に際しては、KIPの設備資金貸付制度をご利用いただきました。

民間や政府系の金融機関など、いくつか資金調達先を検討しましたが、設備購入額の半額とはいえ、7年無利子という条件は他とは比較にならないほど有利なものでした。KIPの担当者にも丁寧な説明とアドバイスを受け、1度だけではなく、次も利用可能と聞きました。正直、なぜ今までこの制度を知らなかったのか、惜しい気がしたくらいです。

Q さて、県の優良工場表彰、おめでとうございます。

ありがとうございます。食品を製造する工場として、横浜工場は稼働後10年、衛生面と労働環境面に特に注意を払い、安全安心で高品質なものづくりをめざしてきました。その取組みが認められ、とても光栄なことと感じています。最近は新規取引にあたり、製品の味を見る前に「工場を見せてください」というお客さまが増えました。それだけものづくりの姿勢が注目されるようになったのでしょうか。

Q 最後に、今後の抱負をお願いします。

TPPなどにより、今後海外食品の一層の流入が予想されます。これを日本人向けに味付けするのが当社の食の提案です。安全安心でおいしいと感じるものづくりに向けて努力を続け、お客さまに評価いただける工場をめざします。

三和フード株式会社

所在地 本社 川崎市中原区木月 1-34-3-201

営業本部 横浜市都筑区佐江戸町678

横浜工場 横浜市金沢区幸浦 2-11-3

☎ 045(790)9370（横浜工場）

ホームページ <http://www.sanwa-food.co.jp/>

●問い合わせ 経営企画室（広報担当） ☎ 045(633)5201

地域経済を支える「優良な中小企業」6工場を表彰

～平成22年度「神奈川県優良工場」表彰式を開催～

県では、1月17日（月）、神奈川県庁大会議場で、次の6工場を優良工場として表彰しました。
ここに6工場をご紹介します。

県では県内に立地し、製造業を営む中小企業の工場のうち、経営成績、作業環境、生産技術などが特に優れており、労働災害や公害の発生防止、労働時間の短縮、環境関連手続の遵守などに取り組んでいる工場を「神奈川県優良工場」として表彰しています。

昭和33年度に制度を発足してから、平成22年度に表彰した6工場を含め、674工場を「神奈川県優良工場」として表彰しています。



表彰式での記念撮影

平成22年度神奈川県優良工場表彰（6工場）（50音順）

No.	工場名	所在地/電話番号/ホームページ	主要製品等
1	インターナショナル・トイレツリース株式会社	秦野市堀山下88 0463(87)7373 http://itc-hadano.co.jp/	洗浄用化粧品、基礎化粧品、染毛剤、コールドパーマ剤
2	エレックス工業株式会社	川崎市高津区新作1-22-23 044(854)8281 http://www.elecs.co.jp/	自治体向け防災・消防情報システム用装置、電波天文学観測データ処理装置、電話・伝送・IP等の通信機器
3	三和フード株式会社 横浜工場	横浜市金沢区幸浦2-11-3 045(790)9370 http://www.sanwa-food.co.jp/	各種業務用たれ類（焼肉用・焼鳥用・各種惣菜用）
4	株式会社スリーハイ	横浜市都筑区東山田4-42-16 045(590)5561 http://www.threehigh.co.jp/	電気ヒーターおよび温度制御装置の製造、設計および販売
5	東海工業株式会社	厚木市妻田東3-32-15 046(222)9308 http://www.tokai-filter.co.jp/	放電加工機用・産業用フィルター
6	東洋測器株式会社 本社工場	横浜市港北区新羽町964-24 045(540)8353 http://www.toyo-sokki.co.jp/	ひすみゲージ、電機応用各種測定器



優良工場表彰楯

●問い合わせ

県産業技術課
工業振興グループ
☎ 045(210)5640
FAX 045(210)8871

伝統的工芸品展WAZA2011のご案内

「伝統的工芸品展WAZA2011」は、全国各地の伝統的工芸品を一堂に集めた唯一最大の工芸品展で、展示のほか、製作実演や販売を行います。県からは、「小田原漆器」「鎌倉彫」「箱根寄木細工」が出展するほか、全国各地の「器」や「和の小物」に関する企画展示も行われます。皆さまのご来場をお待ちしています。

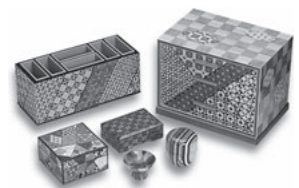
- ◆日時 2月24日(木)～3月1日(火)
10:00～20:00（最終日は17:00まで）
- ◆会場 東武百貨店池袋店 9F呉服売場・10F催事場
（東京都豊島区西池袋1-1-25）
- ※ 入場は無料です。

●問い合わせ

(財)伝統的工芸品産業振興協会 ☎ 03(5954)6033
県産業技術課企画指導グループ ☎ 045(210)5636



小田原漆器



箱根寄木細工



鎌倉彫

朝市・夕市の参加の輪が広がり、商店街・住民一体の活動に ～山北駅前商店街（後編）～

商店街と地元団体等によるコラボレーションで、“にぎわい”創出をめざす山北駅前商店街。その取り組みは次第に広がりを見せ、商店街の方も確かな手応えを感じています。関係機関等とも連携を図りながら、地道に活動を続けてきた山北駅前商店街のケースは、商店街の規模に左右されるものでも、特別なものでもありません。自発的かつ意欲的な同商店街を参考にしてください。

NPO、主婦サークル、学生等 地域ぐるみで取り組む

前編では、昨年5月にスタートした「やまきた駅前夕市」の運営は、商店街だけではなく、地元団体との連携により行われていることを紹介した。やまきた駅前夕市実行委員会の委員長は、商店街にある丸善露木商店の露木隆丸氏だが、副委員長には地元のNPO法人（ウッドボイス）の理事とサークル（ハンドボイス）の代表が就任している。

この両者は、山北町定住対策室による山北駅周辺魅力づくり事業の一環として取り組まれた、空き店舗実験モデル事業を活用し、旧農協店舗に出店。それぞれ山北の間伐材を利用した彫刻工房と、地元主婦サークル等による手作り品の展示販売を行っている。どちらも山北の町を、商店街を元気にしたいと、積極的に夕市に参加し、自店の販売に忙しい商店主に代わって、抽選所の当番などを手伝う。

また、夕市には近隣幼稚園の保護者会や地元高校生の軽音楽部も参加。さらに、地域外でも首都大学東京の教授・学生らのゼミが学生の視点から町を活性化させようと、さまざまな事業企画案を提案している。

「朝市でもウッドボイスの先生が似顔絵描きなどで協力してくれています。そして、夕市では新たに小学校の放課後教室をサポートしている人が子どもたちと参加したいと言って来るなど、参加の輪が広がってきました。朝市・夕市は成長しています。いろいろな力が合わさり、ここまで続けてきて正解だったと感じています」と、この流れのきっかけを作った、やまきた駅前朝市実行委員会委員長の瀬戸義信氏は語る。

地域の多様な団体と力を合わせて活動



NPO法人ウッドボイス理事・彫刻家の蘭 二郎氏、ハンドボイスによる出店、地元高校生の演奏、幼稚園保護者会によるフリーマーケット（写真左上から時計回り）

来訪者を楽しませるイベントで集客力アップ



来訪者に人気の「お楽しみガラガラ抽選会」（写真左）と「つめ放題」（同右）

他商店街の視察で刺激を受け、 変わる契機に

もちろん朝市・夕市の開催で商店街がすぐに活性化するわけではない。事実、山北駅前商店街でもそれ以外の日の集客には苦労しているのが現実である。ただ、例えばイベントのある一時だけでも人が集まり、商店街と町に活気が戻るとは、商店主にとって喜びにつながっているようだ。また、「『朝市や夕市に出店して良かった』という仲間の声を聞くと素直にうれしい」（露木氏）とするように、商店街の役員としても努力の成果を感じ取っている。

以前は何にせよ行政等の主導により取り組んでいた山北駅前商店街だが、朝市の前後から商店主が自発的になってきたという。「他の商店街を視察して、大いに刺激になりました。うちでもできる。そんな気持ちが出てきて、工夫してみようという雰囲気になったのです」（露木氏）。こうした商店主たちの心意気が地元住民や行政、商工会等にも伝わり、協力体制ができあがってきたのではないだろうか。

しかし、同商店街は今も危機感を持っている。「5、10年後が心配。朝市も変えていかないと飽きられてしまいます。お客さまが離れていかないよう、常に新しいことに挑戦していこうと考えています」（瀬戸氏）。現状に満足することなく、次の策を検討する。その姿勢がある限り、商店街の灯は決して消えないはずだ。

有限会社丸善露木商店／株式会社田中屋肉店

所在地 足柄上郡山北町山北1889-16／1996
☎ 0465(76)3545／0465(75)0032

山北商店振興会（山北町商工会館内）

所在地 足柄上郡山北町山北1889-36
☎ 0465(76)3451
ホームページ <http://www.shokonet.or.jp/yamakita/>

●問い合わせ 経営改善支援課 ☎ 045(633)5202

* この連載は今回で終了します。来年度に新たな連載を計画中です。

6期ぶりにマイナスゾーンへ、今後はさらに慎重な見方

～平成22年度「発注企業生産現況調査（12月調査）」結果報告～

この調査は、県内発注企業の生産現況と今後の生産見通しなどを把握するとともに、KIPが実施している取引あっせん事業のより効果的な展開に資するため、KIP取引振興課の登録企業データベースに登録している資本金3,000万円以上の500社を対象に、年4回（四半期毎）実施しているものです。

今年度第3回（12月調査）の結果を報告します。

<調査概要>

調査対象：登録企業データベースに登録している
資本金3,000万円以上の県内発注企業

調査時期：平成22年12月

調査企業数：500社

回答企業数：161社（32.2%）

(注) B.S.I値（ビジネス・サーベイ・インデックス）

= 上昇企業数割合 - 下降企業数割合

B.S.I値は、上昇、下降などの変化方向別回答企業数の構成比から全体の情勢を判断するもので、例えばB.S.I値が下から上に向かって0線を横切る時はマイナスゾーンからプラスゾーンへの移行を意味し、これから上昇過程に入ると見ます。

右の表は、今回の調査結果をB.S.I値に置き換え、過去5回の数値に直近（平成22年12月期）の傾向と3ヵ月後（同23年3月期）の見通しを加え、この1年半の実績と今後3ヵ月後を表したものです。

直近の生産動向（B.S.I値）は、前回調査（同22年9月期）と比較して、「金属」（5.3→▲15.8）、「電気」（25.0→▲15.4）、「輸送」（36.8→▲11.1）の3業種がマイナスゾーンへ移行。また、全業種もわずかながらとはいえ、同21年6月期以来のマイナスゾーン（24.5→▲0.6）へ移行と、県内発注企業の生産が下降過程に入ってきたものと見られます。

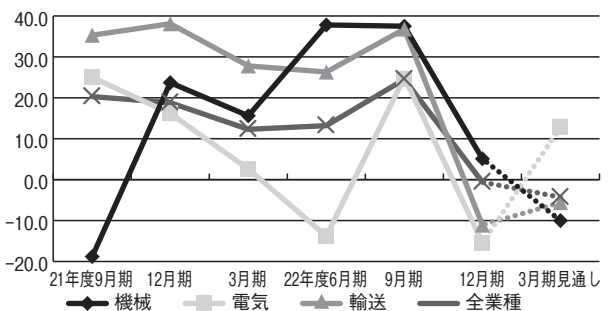
また、右の図は神奈川県の中核産業である「機械」「電気」「輸送」の3業種の動向をグラフ化したものです。今回、中核3業種のなかで唯一マイナスとならなかった「機械」も前期比32.4ポイント減（37.5→5.1）と大きくダウン。今回の中核3業種の大きな落ち込みが、グラフからも明確に見取れます。

このトレンドは、3ヵ月後ではより拡大する見通しで、新たに「鉄鋼」（66.7→▲33.3）、「非鉄」（100→▲25.0）、「機械」（5.1→▲10.0）と3業種がマイナスゾーンに移行すると予測。プラスに転じた「電気」（▲15.4→12.8）以外は、横ばいまたはマイナスゾーンとなり、全業種もマイナスが拡大（▲0.6→▲4.3）と、引き続き発注企業は生産に慎重な見方を持っています。

表 業種別B.S.I値による生産動向（最近1年半の実績と今後3ヵ月後の見通し）

業種		鉄鋼	非鉄	金属	機械	電気	輸送	精密	その他	全業種
21年度	9月期	100	33.3	57.1	-18.8	25.0	35.3	30.8	16.0	20.3
	12月期	100	12.5	14.3	23.7	16.2	38.1	7.1	0	18.8
	3月期	100	-11.1	-5.9	15.6	2.6	27.8	7.1	25.0	12.3
22年度	6月期	0	60.0	-14.3	37.8	-13.8	26.3	-18.2	22.2	13.2
	9月期	100	-50.0	5.3	37.5	25.0	36.8	33.3	13.3	24.5
	12月期	66.7	100	-15.8	5.1	-15.4	-11.1	6.7	4.3	-0.6
3月期見通し		-33.3	-25.0	-36.8	-10.0	12.8	-5.6	6.7	4.3	-4.3

図 県内中核3業種（機械・電気・輸送）と全業種のB.S.I値の推移（最近1年半の実績と今後3ヵ月後の見通し）



●問い合わせ 取引振興課 ☎ 045(633)5067

経営セミナー「昨今の経済情勢、消費者動向と商店経営」

- 日時 3月11日（金） 15:00～16:30
- 場所 神奈川中小企業センタービル 13F第2会議室
- 講師 有村知里氏
（中小企業診断士）
- 定員 30人
- 申込方法 事業所名、氏名、TELを記載し、FAXでお申し込みください。



県指定銘菓千代田の栗最中

KIPでは、県指定銘菓製造・販売事業者の集まりである神奈川県銘菓共励会と共催で経営セミナーを開催します。昨今の厳しい経済情勢に対応した商店経営のあり方について、専門家が解説します。商店主の皆さま、ぜひご参加ください。

■神奈川県指定銘菓

県内で味・容姿・技術等が特に優れた菓子を指定銘菓とし、県内菓子業界および県内の観光・物産の振興に役立てています。昭和25年創設の制度で、現在147銘柄が指定されています。

■神奈川県銘菓共励会

県指定銘菓を製造・販売する事業者により、昭和25年に設立された任意団体です（名誉会長：神奈川県知事、会長：菊池英雄<千代田栗最中本舗>）。

ホームページ <http://www.kanagawa-kankou.or.jp/meika/index.html>

●申し込み・問い合わせ 経営改善支援課
☎ 045(633)5202 FAX 045(633)5208

下請法 早わかり 第12回

2009年5月号から連載を続けてきました、「下請法 早わかり」。主に親事業者の遵守事項（禁止行為）について、事例等を交えながら解説してきましたが、今回が最終回となります。

今回は、残りの2つ（「報復措置の禁止」、「割引困難な手形の交付の禁止」）の解説とともに、禁止11行為をもう一度振り返ります。

第4条第1項

親事業者は、下請事業者に対し製造委託等をした場合は、次の各号に掲げる行為をしてはならない。

第1項第7号 (報復措置の禁止)

親事業者による本法違反行為を、下請事業者が公正取引委員会または中小企業庁に対しその事実を知らせたことを理由として、取引の数量を減じ、取引を停止し、その他不利益な取扱いをすること。

第1項第7号は、下請事業者が親事業者の報復を恐れず、公正取引委員会や中小企業庁に対し、親事業者の違反行為を申告できるよう設けられています。

第2項第2号の一般の金融機関とは、銀行、信用金庫、信用組合、商工組合中央金庫等の預貯金の受入れと資金の融通をあわせて行う者をいい、貸金業者は含まれ

第4条第2項

親事業者は、下請事業者に対し製造委託等をした場合は、次の各号に掲げる行為をすることによって、下請事業者の利益を不当に害してはならない。

第2項第2号 (割引困難な手形の交付の禁止)

下請代金の支払につき、当該下請代金の支払期日までに一般の金融機関による割引を受けることが困難であると認められる手形を交付すること。

ません。

また、割引困難な手形とは、一般的にその業界の慣行、親事業者と下請事業者との取引関係、その時の金融情勢等を総合的に勘案して、ほぼ妥当と認められる手形期間（現在の運用では繊維業90日、その他の業種120日）を超える長期の手形と解釈されています。

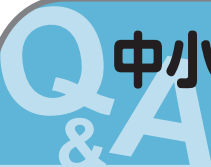
■下請法に定められた親事業者の禁止11行為

次の禁止行為は、たとえ下請事業者の了解を得ていても、また、親事業者に違法性の意識がなくても、これらの規定に触れるときには、下請法に違反することになります。

禁止事項	概要
受領拒否（第1項第1号）	注文した物品等の受領を拒むこと
下請代金の支払遅延（第1項第2号）	下請代金を受領後60日以内に定められた支払期日までに支払わないこと
下請代金の減額（第1項第3号）	あらかじめ定めた下請代金を減額すること
返品（第1項第4号）	受け取った物を返品すること
買ったたき（第1項第5号）	類似品等の価格または市価に比べて著しく低い下請代金を不当に定めること
購入・利用強制（第1項第6号）	親事業者が指定する物・役務を強制的に購入・利用させること
報復措置（第1項第7号）	* 今月号で解説
有償支給原材料等の対価の早期決済（第2項第1号）	有償で支給した原材料等の対価を、当該原材料等を用いた給付にかかる下請代金の支払期日より早い時期に相殺したり支払わせたりすること
割引困難な手形の交付（第2項第2号）	* 今月号で解説
不当な経済上の利益の提供要請（第2項第3号）	下請事業者から金銭、労務の提供等をさせること
不当な給付内容の変更および不当なやり直し（第2項第4号）	費用を負担せずに注文内容を変更し、または受領後にやり直しをさせること

※ KIPでは、下請取引に関することをはじめ、取引全般について、下請かけこみ寺で相談を受け付けています。お気軽にご利用ください。

●問い合わせ 下請かけこみ寺（経営総合相談室内） ☎ 045(633)5200



中小企業の皆さまの経営上の課題を解決します！

～“サポートかながわ” 誌上相談⑰～

KIPの経営総合相談室に寄せられた相談のなかから、皆さまの参考になるものをご紹介します。今回は、飲食店の創業をめざす方からの相談です。



スイーツをメインにした飲食店の開業を計画しています。事業計画書作成のアドバイスをお願いします

スイーツとカフェをメインメニューとした飲食店の創業を考えています。コンセプトは、“身体に安全安心な食材を使用した、スイーツとドリンクを提供するカフェバー”です。ダイエット中の方、病気やアレルギーによる食事制限のある方など、何らかの理由により甘いものを我慢している人にも、安心してスイーツを楽しんでいただけます。

「スイーツ（甘いもの）＝身体に悪い」という概念を打ち破り、身体に優しく、安心できるスイーツを提供する店をめざしたいと考えています。また、男性1人でも人目を気にせずにスイーツを楽しめるような雰囲気を作り、甘党の男性客の確保にも努めるつもりです。

スイーツのメニューは、白砂糖、添加物、加工食品を一切使用せず、旬や季節の新鮮な食材を使います。卵や乳製品等の動物性食材を使用しない「マクロビオティック（*）スイーツ」も取り揃え、健康・オーガニック志向のお客さまのニーズにも応えます。また、夜にはスイーツバーとして、スイーツを食べながらお酒を飲むといった、スイーツの新しい提案もしていきます。

以上の内容で事業計画書を作成したいので、アドバイスをお願いします。

* 長寿法の意で、玄米、野菜、海藻などを中心に摂取する食事法



競合店との明確な差別化と、入念な資金計画による事業計画書の作成を

「スイーツ+お酒」は、独自性のあるブランドと考えられます。どちらも多種類のメニューがあるので、いろいろな組み合わせを作り、お客さま、特にターゲットとする男性客の嗜好を探り、他店にはないオリジナリティを打ち出すことをお勧めします。立地によっては、地域ブランドの活用も差別化につながります。

いずれにしても飲食店だけでなく、コンビニやファーストフード、ファミレスなど、スイーツを扱う店舗を競合と考え、自店の特徴を明確にし、アピールしてください。

その他の留意点では、以下のことがあげられます。

- ①マクロビオティックスイーツ等“健康”を前面に打ち出す場合、薬事法などコンプライアンスに十分気をつけること
- ②店舗物件はできるだけ多く回り、目利き力を身につけるよう心がけ、物件が決まったら商圈調査を必ず行うこと
- ③利益計画、収支計画を月次で立てること
- ④開業資金のうち自己資金以外の調達額を決める場合は、利益計画を参考にして、返済に無理のない額にすること。これらの点を考慮して、慎重に事業計画書を作成してください。

●問い合わせ 経営総合相談室 ☎ 045(633)5200

上手な投げかけで部下のやる気を引き出す！

～KIP経営革新支援研修「コーチングを知ろう」のご案内～

中小企業の経営者や管理職の皆さま。従業員や部下のスキルアップにお悩みではありませんか？そうした皆さまに、KIPでは個人の能力を可能な限り引き出すことで、スキルアップや問題解決能力の修得につなげる手法である、“コーチング”をテーマにした研修を実施します。ぜひ部下の意欲を引き出す術を知り、組織の活性化を図ってください。

開催概要

- 日時 3月17日(木) 9:30～16:30
- 会場 神奈川中小企業センタービル 13F第2会議室
- 講師 松嶋清秀氏
(株)MxEコンサルティング代表取締役(中小企業診断士)
* 「考働力を高める」という視点で、階層別・ビジネススキルなどの教育・研修と、営業力強化などのコンサルティングを中心に活躍中。

- 内容
 - ・コーチング概要
 - ・1対1のコーチング
(ロールプレイ、プライベートコーチング実践)
 - ・1対N(多数を相手とする)のコーチング
(ロールプレイ、組織コーチング実践)
- 定員 30人(申込先着順)
- 費用 2,000円
- 申し込み ホームページまたはFAXでお申し込みください。

●問い合わせ 事業課 ☎ 045(633)5062 FAX 045(633)5222
ホームページ <http://www.kipc.or.jp/>

「神奈川R&D合同展示会2011」を開催します

県内の中小・中堅企業の優れた技術を展示・紹介し、大企業等とのマッチングを促進します。技術連携を希望する多くの方のご参加をお待ちしています。

県では、世界トップレベルの研究所の立地・集積を県内中小企業の技術力、競争力の向上につなげ、「世界をリードする新たな産業の展開」を図るため、「神奈川R&D推進協議会」を設置し、技術連携を促進する「神奈川R&Dネットワーク構想」を推進しています。そして、今年度から新たに6機関をメンバーに加え、第2期の活動をスタートしました。

この取組みの一環として、協議会の大企業技術者をはじめ、広く皆さまに、県内企業のオンリーワン技術を紹介する展示会を開催します。どなたでも来場できますので、ぜひご参加ください。

出展企業等の詳細は、産技センターのホームページをご覧ください。

■日時 3月4日(金)10:30~16:30 (途中入退場自由)

■場所 神奈川県産業技術センター
(海老名市下今泉705-1)

※ 駐車場はございますが、混雑が予想されるため、できる限り公共交通機関をご利用ください。

■出展社数 約70社

■申し込み 不要

※ 受付用に名刺を2枚ご用意ください。

■参加費 無料

■主催 神奈川R&D推進協議会、神奈川県

■共催 神奈川県産業技術交流協会



昨年の神奈川R&D合同展示会の様子

神奈川R&D推進協議会メンバー

旭硝子(株)、味の素(株)、(株)アルバック、キヤノン(株)、昭和シェル石油(株)、ソニー(株)、東京応化工業(株)、東京電力(株)、(株)東芝、日産自動車(株)、日本ゼオン(株)、(株)日立製作所、富士ゼロックス(株)、(株)富士通研究所、富士フイルム(株)、(株)山武、横河電機(株)、(株)リコー、横浜国立大学、(財)神奈川科学技術アカデミー、神奈川県

●問い合わせ 技術支援推進部交流相談支援室

☎ 046(236)1500 FAX 046(236)1527

ホームページ <http://www.kanagawa-iri.go.jp/>

人材育成の一環として“産地技術者育成支援”を行っています

産技センター工芸技術所では、伝統産業や産地固有技術を継承するため、若手経営者や青年グループ、産地組合などを対象に実技研修を行っています。その支援内容をご紹介します。

県内には鎌倉彫、小田原漆器、箱根寄木細工に代表される多くの伝統工芸品があります。工芸技術所では、こうした工芸技術支援のために、毎年、産地技術者育成支援の実技研修を行っています。

具体的には、木材を回転させて木地加工を行い、椀や盆などを作る「ろくろ技術研修」、秘密箱や文庫、引出し箱など、主に箱物を作る「指物研修」、いろいろな樹種の木を自由な曲線で嵌め合わせて木画(この薄板が箱根の観光土産品に貼られています)を作る「木象嵌研修」、そして加工されたものを仕上げるための「漆塗装技術研修」、スプレー塗装を中心にした「ウレタン塗装技術研修」を実施してきました。

ろくろ技術研修受講者のなかには、技能審査に見事合格し、箱根細工技能士の称号を獲得した方もいます。また、昨年度まで3年間にわたり「小田原漆器ろくろ研修」の支援を行い、2人の若手ろくろ職人が巣立っていきました。この研修の修了者

は現在、漆器製造関連企業に就職し、さらなる技術向上をめざし、技術を磨いています。

工芸技術所では、関連業界の要望や受講者のニーズをできるだけ反映できるように研修内容の充実に努めています。平成22年度は10~12月に漆塗装技術研修を実施しました。今年度は、小田原漆器の基本的技術である摺漆(木目の美しさをひき立てる塗り方)の技術向上と、新しい加飾へのチャレンジのために金箔・銀箔を使った漆塗り技法、漆で絵を描く漆絵技法の習得を目標としました。受講された方々からは、研修で学んだ技術を活かし、今後の商品開発に役立てたいとの感想をいただきました。

●問い合わせ 工芸技術所工芸技術チーム ☎ 0465(35)3557



平成22年度漆塗装技術研修(写真上)と小田原漆器ろくろ研修(漆塗装実習)(同下)

「第27回神奈川工業技術開発大賞」受賞企業の紹介

* 2010年12月号で画像が入れ替わっていた2社分を訂正し、再掲しています。

大賞

空气中で計測可能な非接触超音波探傷システム ジャンププローブ(株)

◆受賞技術

超音波を空气中で投射しても、検査対象内部の欠陥状況を高速で画像化し、1mmの欠陥を判別できる非破壊評価システムを開発しました。

◆会社概要

所在地 横浜市南区中村町1-1-14

☎ 045(242)0531

ホームページ <http://www.jp-probe.com/>

主な事業内容 超音波検知器、超音波発振器・受信器、検査システムの開発・設計・製造・販売など



奨励賞

自律神経反射の即時解析モニター (株)クロスウェル

◆受賞技術

心拍変動の周波数解析や時間領域解析をリアルタイムで行うことで、自律神経の変化をリアルタイムに表示し、自律神経の反応を可視化することに成功しました。

◆会社概要

所在地 横浜市西区岡野1-15-9-301

☎ 045(312)9301

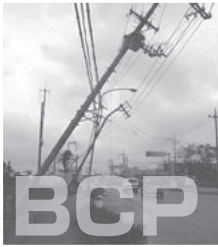
ホームページ <http://crosswell.jp/>

主な事業内容 疾病の早期発見(二次予防)と生活習慣の改善(一次予防)をサポートする機器・システムの開発



PCと連動 計量・コンパクト 血圧計・Circlemates 心拍計LRR

●問い合わせ 技術支援推進部開発支援室 ☎ 046(236)1500



県発行のツールとKIPの支援を有効活用し、 短期間でBCP策定

～中小企業のためのBCP（事業継続計画）作成のススメ・前編～

従来とは異なる鑄造技術で、新たな鑄物づくりに挑戦しているコイワイ。同社は昨年、地震等の緊急事態を想定し、事前に復旧に向けた準備を行う事業継続計画（BCP:Business Continuity Plan）を策定しました。同社の取り組みから中小製造業にとってのBCP策定の意義や効果などについて、探ってみます。

顧客の要請と社内体制の整備のため、BCPを策定

「BCP策定を決めたのには、2つの目的がありました」と、同社の小岩井豊巳社長。その1つが顧客からの要請である。「静岡のお客さまが日ごろから地震を心配されていて、当社にも対策を講じてほしいと要請があったのです」とのこと。東海地震の発生が懸念される同地域では、以前から地震対策が進んでいた。しかし、発注側が対策を立てても受注側からの供給がストップしてしまえば、製造に支障をきたす。そのために受注側にも復旧への計画が求められたようだ。

そして、もう1つが社内体制の整備である。「時代を経るごとに人材・設備が増強され、工場が変化を遂げてきたなかで、改めて会社の資産や情報などの洗い出しが必要だと感じました。また、従業員が会社のことをよく理解するきっかけにもなかったのです」と小岩井社長。

今後さらなる厳しい競争が予想される環境にあって、企業体質の強化を図るためには、従業員の意識・レベルの向上が不可欠である。そうした従業員教育の一環という意味も、同社の取り組みの背景にはあった。

さて、では実際に同社はどのようにしてBCP策定に取り組んだのか？中小企業が一から取り組むにはやはりハードルが高いと思われる。

そこで、同社は県の発行する「BCP作成のすすめ（かながわ版）」を活用した。これは、中小企業が効率よくBCPを策定できるよう、その概要や記載例、事業継続計画書のひな形などが盛り込まれたBCP策定支援ツール。記載例は2パターンあり、工業系と商業系のどちらにも対応し、また入力と書き換え可能なエクセル版のひな形もあり、このツールに従えば、自社のBCP策定ができるようになっている。

しかし、中小企業にとってBCPはまだなじみの薄いのが現実。社内にBCPを知る人材は皆無といってもいいだろう。同社も例外ではなかった。そこで、専門家の力を借りようとしたのが、KIPの経営アドバイザー派遣事業であった。



左写真：経営アドバイザーとBCP策定プロジェクトチームによる勉強会の様子
右写真：小岩井豊巳社長と同プロジェクトチームリーダーの宮原さつみ製造部業務G課長

品質から環境、そしてリスク管理へ評価基準が変化

その効果を小岩井社長は、「BCPに精通する経営アドバイザーの支援により、BCPの必要性や策定方法などを効率的に学習できました」と語る。実際に同社では、昨年9～12月にわたり、5回の派遣を受けてBCPを策定するなど、KIPの支援事業を有効に活用した。

こうした同社の取り組みは、前述の顧客のみならず他の複数の顧客からも、「安心して、仕事をお任せできます」と評価されているという。また、従業員の「現場と事務部門の距離感がなくなった」という声からも、所期の成果が上がっていることがわかる。今回の取り組みについて小岩井社長は、「お客さまの評価がかつての品質から環境へ、そして現在、リスク管理に変わりつつある気がします。そのために中小企業でもBCPについて真剣に考え、取り組まなければいけないと思いました」と述べている。

地震だけではなく、インフルエンザや事故など、万が一のとき、あなたの会社はどう対応しますか？

株式会社コイワイ

本社 秦野市曾屋60 ☎ 0463(83)8140
ホームページ <http://www.tc-koiwai.co.jp/>

●問い合わせ

・BCPについて

県産業活性化課産業活性化グループ ☎ 045(210)5556

ホームページ <http://www.pref.kanagawa.jp/osirase/sangyo/bcp/index.html>

・経営アドバイザー派遣事業について

経営改善支援課 ☎ 045(633)5202

BCP(事業継続計画)策定セミナー「大災害時における企業の危機管理」

定員：40人
参加費：無料

大災害発生時にも限られた経営資源で最低限の事業活動を継続、再開できるようにBCP策定に取り組んでみませんか！

●日時 3月25日(金) 15:00～17:00

●会場 茅ヶ崎商工会議所 大会議室

●内容 第Ⅰ部 ビデオ上映「地域で減災！」

第Ⅱ部 茅ヶ崎市と防災について

～阪神・淡路大震災から学んだこと～

講師：茅ヶ崎市役所防災対策課 廣田憲昭氏

第Ⅲ部 中小企業のためのBCP(事業継続計画)作成のススメ

講師：神奈川県商工労働局産業活性化課職員

第Ⅳ部 茅ヶ崎市における災害対策の取り組みについて

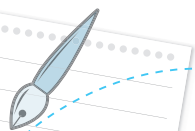
講師：茅ヶ崎市防災対策課・産業振興課職員

●主催 茅ヶ崎商工会議所

●共催 神奈川県

●申し込み・問い合わせ 茅ヶ崎商工会議所 ☎ 0467(58)1111

地区だより



地域の身近な窓口、5つの地域県政総合センターが最近の街の話題をレポートします！

ヨコスカ海と大地のプロジェクト

横須賀三浦地域県政総合センター

横須賀三浦地域からは、横須賀商工会議所が進める「ヨコスカ海と大地のプロジェクト」についてご紹介します。

横須賀三浦地域は、三方を海に囲まれ、温暖な気候や豊かな自然環境に恵まれ、都市近郊型の農業・水産業が盛んです。なかでも横須賀市の農産物生産量は、全国第7位のキャベツを中心に全国でも有数。水産物もカタクチイワシやサバ類等沿岸漁業で県内第1位の生産量を誇ります。これら多くが京浜地区を始め、市外へ流通、消費されています。

横須賀商工会議所では、この豊かな横須賀の農水産物を横須賀市民や街を訪れる人、全国各地の方々に食べていただくことを目的に、「ヨコスカ海と大地のプロジェクト」として、情報発信や新商品の開発に取り組んでいます。

◆豊かな地場産農水産物による情報発信と新商品開発

豊かな地域資源や意欲的な事業者、事業を支援する団体・人材等をデータベース化し、これらのマッチングを図ることにより、地域の新たな特産品開発をめざしています。そして、さまざまな事業の取組みの一つが、規格外の魚や野菜を粉にして商品化させようという試みです。

規格外のため、有効利用されていない農水産物が多くあります。例えば、水揚げされたサバ(写真右上)。大きさが規格に合致し、市場に流通するものは一部に限られますが、

規格外でも味や栄養価は市場に出回るものと変わりません。

そこで、食べ残し食品の肥料化などで乾燥粉化技術のノウハウを有する(株)横須賀軽金は、同プロジェクトの地域資源活用にかかる試作品開発事業に応募。規格外のサバなど農水産物の粉末の商品化(同右下=豊富な栄養分が含まれたサバ粉)に取り組んでいます。



◆観光事業との連携

このプロジェクトのもう一つの大きな柱は、地域資源を活用した観光開発です。農漁業体験や産地直売所で、新鮮な農水産物の魅力をアピール。観光振興とともに、横須賀の農水産物のファンづくりをねらいます。また、地産地消を進める地域のレストラン等との連携も展開中です。

◆地域資源を活用した魅力づくり

横須賀商工会議所では、横須賀三浦地域にある豊かな地域資源を農商工・観光の連携により活用し、地域の魅力向上と活性化をめざしています。皆さまもぜひ、横須賀三浦地域に来て、農水産物を味わってください。

●問い合わせ 横須賀三浦地域県政総合センター商工観光課

☎ 046(823)0210

商店街が運営するアンテナショップ

「とれたて大和」 県央地域県政総合センター

県央地域からは、昨年6月に地元商店街がオープンしたアンテナショップ「とれたて大和」(写真下)についてご紹介します。

◆県内外の多彩な商品を販売

大和駅徒歩3分の空き店舗を改装してオープンした「とれたて大和」は、緊急経済対策の「ふるさと雇用再生特別基金事業補助金」を活用し、大和市からの委託事業としてスタートしました。

運営する(協)やまと商業活性化センターは、駅周辺の10商店街が集合し、地域活性化をめざして設立された団体です。これまでも地域を盛り上げようと活動してきましたが、昨今は空き店舗が増加するようになり、さらに市も2つの私鉄が交差する利便性の高さや市の中心部という立地にもかかわらず停滞する状況に苦慮していました。

そうしたときにスタートしたのが、「とれたて大和」事業です。同店の一番の売れ筋は、市内で生産される野菜(同右上)。地元農家との直接取引により、新鮮で安価な商品の提供が実現したほか、房総や霞ヶ浦の特産野菜など県外品も扱うことが大きな特徴となっています。また、野菜以



外ではイベントの際の詰め放題で評判になり、定番商品となった山北町の規格外みかんや市内の肉屋さんのメンチカツ(冷凍)、ハム類、レストランのパウンドケーキ、さらには東北・北陸地方などの漬物やお菓子、調味料など。実に多彩な商品で、固定客がつく商品も出てきました。

◆幅広い世代の交流ができる場をめざす

ただ運営は決して楽ではありません。そこで、イベントの開催や売り場レイアウトの変更など、スタッフは飽きられない店舗づくりに汗をかいています。白井店長は、「来年度までは市の助成を受けられますが、それ以降も店を残すためには今頑張らないといけません」と語っています。

オープンして約半年。駅近の立地もあり、知名度は上がってきました。「今後は若い方から高齢の方まで、さまざまな世代の方が集まって交流できる場にしていきたいと思っています。そのためにも店に来られる方々の意見や感想を大事にし、そうした声を反映していこうと思います」と白井店長。課題も多いですが、今後も楽しみな「とれたて大和」です。

●問い合わせ とれたて大和 ☎ 046(240)8340

(協)やまと商業活性化センター ☎ 046(260)7338

県央地域県政総合センター商工観光課

☎ 046(224)1111

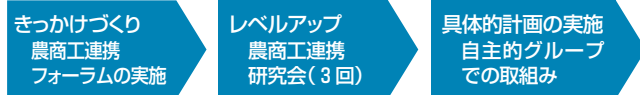
湘南の農業を元気に<We Love 湘南産!> 湘南地域県政総合センター

湘南地域からは、農商工連携の取組みについてご紹介します。

❖3段階で展開

湘南地域の農業の特性は、小規模ながら大消費地に近く、野菜や花など多様な農業を展開していることです。

農商工連携の取組みは、こうした地域特性を活用し、地域内の農業者と商工業者が連携する取組みを築き、お互いの強みを活かして、地域の特色ある産物を発掘・活用する新しい事業展開を図ろうとするものです。①「きっかけづくり」、②「レベルアップ（交流・マッチング等）」、③「具体的計画の実施」と段階的に展開していきます。



❖農商工連携フォーラムの開催

昨年10月21日(木)、ひらつかアリーナを会場とした「湘南ひらつかテクノフェア2010」で、「農商工連携フォーラムinひらつか」(写真)を開催しました。

伊勢原市で、県内でも数少ない食べられる花(エディブルフラワー)を生産する加藤花園の加藤京子氏に、「花を素材とした商品開発」と題した基調講演をしていただき、「花による農商工連携の可能性を探る」というテーマでパ



ネルディカッションを行い、159人の参加者がありました。

❖農商工連携研究会の設置

フォーラムを契機に、地域の農業者と中小企業者が連携して、湘南地域の特色ある農

産物を活用した新商品・新サービスの開発等を検討するため、農商工連携研究会を設置しました。研究会(写真)では、参加者のスキルアップを図るとともに、参加者同士が交流・マッチングができるよう講演や事例紹介に加え、参加者交流タイムを設け、意見交換を行いました。

昨年12月の第1回は、NPO法人日本プロ農業総合支援機構(J-PAO)の神崎智由氏による講演、1月の2回目は、経済産業省による農商工連携事業に認定された三浦市下里ファームの下里吉浩氏と(有)たのし屋本舗の下澤敏也氏による事例紹介、また同月の3回目は、県農業技術センター研究員が、「湘南のおもてなし事業」と題して事例研究を行いました。毎回、交流タイムでは、参加者による活発な議論が行われ、特に「相模半白節成(さがみはんじろう)」という平塚特産の伝統野菜であるキュウリに関心が集まりました。

❖今後の展開

研究会をとおり、異業種間の交流を図ることができたので、今後は研究会からスタートしたグループを中心に、「湘南産」の野菜、花などを活用した魅力ある商品、サービスが提供できることを期待しています。

●問い合わせ 湘南地域県政総合センター商工観光課

☎ 0463(22)2711

「あしがら」をブランドに! 足柄上地域県政総合センター

足柄上地域からは、地域全体のイメージアップと知名度向上のために、「あしがら」の名前を1つのブランドにする取組みについてご紹介します。

❖あしがらのキャッチフレーズを決めました

足柄上地域は、首都圏近郊に位置し、豊かな自然環境と歴史を有し、地域資源を活かした観光スポットも点在していますが、近年の入込観光客数はほぼ横ばい、観光客消費額は大幅に減少というのが現状です。

「あしがら」の知名度向上のためには、地域のイメージをまとめる必要があります。そこで、学識経験者や地域で活動中の民間の方による検討会を組織し、「あしがら」のキャッチフレーズを、「懐かしい風 新たな出会い あしがらの里」と決めました。都会から近いのにどこか懐かしい感じがする、訪れた方に普通の生活とは違う新しい出会いが期待できる、そんな里山の風景を表現しています。これをデザイン化したロゴを公募し、3月に決定します。

❖あしがらの新しい食を作ります

また、旅行の楽しみの1つは、旅先の名物料理を食べること。そこで、地域の3つの商工会と県・市町が協力し、あしがらの新しい食を開発しようと、「あしがら食のコン

テスト」を実施しています。足柄茶とお米の他にあしがら産の野菜等を使った、「あしがらをイメージできるアイデア料理」のレシピを公募。期間中に40件の応募があり、第1次審査で5点に選ばれました。このなかから2月に、あしがらの新しい食が決定します。

❖あしがらを体験する観光メニュー

さらに、豊かな森林の恵みを活かした体験講座や農作物の収穫体験を盛り込んだツアーの開催など、地域ブランド・イメージにふさわしい体験型観光メニューの開発も実施しています。



開成町の瀬戸屋敷

❖今後の展開

来年度はキャッチフレーズやロゴマーク、新しい食の普及を進めるとともに、あしがらのイメージアップ作戦として、チェーンソー・アート大会の開催や足柄上地域の滝にスポットを当てた写真コンテスト等のイベントを展開していきます。

皆さまもこれからきっと「あしがら」の名前を目にする機会が増えるでしょう。

●問い合わせ 足柄上地域県政総合センター商工観光課

☎ 0465(83)5111

魅力的な貝の世界へようこそ

西湘地域県政総合センター

西湘地域からは、海からの自然の恵みをさまざまな形で利用してきた歴史と文化のある真鶴町に、昨年4月に開設された真鶴町立遠藤貝類博物館についてご紹介します。

❖貝類博物館オープン

真鶴町立遠藤貝類博物館は、真鶴町岩地区に在住していた故遠藤晴雄氏が収集した貝類コレクション4,500種50,000点の寄贈を受けて開設されました。

博物館では約1,800種5,000点の標本を展示し、「相模湾の貝」「日本の貝」「世界の貝」「真鶴の海の生き物」について知ることができます。

◆希少種オキナエビスガイの展示

4つの展示室（写真左）で世界中の貝のさまざまな色や形を楽しむことができます。なかでも美しい色彩の火災模様を持ち、「生きた化石」として知られるオキナエビスガイのコレクション（同右）は、博物館の貴重な展示品です。

◆海の恵みの豊かさを伝えて

多くの方が博物館で不思議な輝きを放つ貝の魅力的な世界に触れ、海や自然に対してさらに興味・関心を深めていただければ幸いです。



皆さまも一度、真鶴町立遠藤貝類博物館を訪ねてみませんか？

❖真鶴半島を歩く

また、博物館は真鶴半島三ツ石海岸の近くにあります。真鶴岬の緑は、スダジイやタブノキなどの常緑樹がおいしげり、「魚付き保安林」として真鶴の海と漁業を守ってきました。博物館見学のほか、森林浴遊歩道や潮騒遊歩道などもお楽しみいただけます。ぜひ、真鶴にお越しください。

●問い合わせ 真鶴町立遠藤貝類博物館

（観覧料:大人300円、小人150円）

足柄下郡真鶴町真鶴1175-1 ☎ 0465(68)2111

ホームページ

<http://www.town-manazuru.jp/shell-museum/>

真鶴町観光協会 ☎ 0465(68)2543

西湘地域県政総合センター商工観光課 ☎ 0465(32)8000

中小企業応援センターNEWS

中小企業の経営課題の解決を応援します！

～中小企業応援センター・無料セミナーのご案内～

中小企業応援センターでは、皆さまの経営課題の解決に資するさまざまなセミナーを開催しています。参加費は無料です。お気軽にご参加ください。

●横浜会場 神奈川中小企業センタービル 14F多目的ホール

国際展開支援セミナー&相談会

定員60人

・「アジアで勝つ！～ASEAN編～」

高い経済成長を続けるASEAN地域でのビジネス成功の秘訣を解説します。

■日時 2月22日(火) 13:30～17:00

■講演 13:30～16:20 (個別相談会 16:20～17:00)

■講師 加藤洋一郎氏

(独) 中小企業基盤整備機構

国際化支援センター海外展開支援課経営支援専門員

●川崎会場 川崎市産業振興会館 9F第3研修室

営業戦略セミナー&相談会

定員40人

・「販売力を強化する営業の仕組み化」

すぐに成果が上がる強い営業の仕組みづくりを解説します。

■日時 3月1日(火) 18:30～21:30

■講演 18:30～21:00 (個別相談会21:00～21:30)

■講師 東條裕一氏

(株)エッグス・コンサルティング 代表取締役

※ 申し込み：ホームページから申込書をダウンロードし、FAXでお申し込みください（小田原会場のみ、0465(22)0877へ）。

●問い合わせ 中小企業応援センター ☎ 045(633)5182 FAX 045(633)5208 ホームページ <http://kaigi.kipc.or.jp/ouen-center/>

●小田原会場 小田原箱根商工会議所 1Fホール

経営革新セミナー

定員各30人

・「販路開拓の基礎と販路作りの極意」

標的顧客と適正商品の設定による販売ストーリー作りを解説します。

■日時 2月22日(火) 14:00～17:00

■講師 川上正人氏 (株)流通プランニング研究所 所長

・「省エネとコストダウンを実現する経営手法」

コストをかけない、「環境にやさしい経営」を解説します。

■日時 3月2日(水) 14:00～17:00

■講師 箭内勝則氏

(株)シー・エス・イー エコステージ評価員

ものづくり支援セミナー

・「ものづくり企業のためのマーケティング」

コア能力を見きわめ、ニッチ市場を開拓するポイントを解説します。

■日時 2月23日(水) 14:00～17:00

■講師 亀井 浩氏 (株)ネクストゲート 代表取締役

県中小企業制度融資をご存じですか？

～さまざまな資金メニューで低利・固定の借入ができます～

中小企業者等の皆さまが、県内で行う事業活動に対し、県と金融機関が協調して融資を行うのが制度融資。県が貸付原資の一部を負担することで、短期から長期まで低利・固定での融資を行います。

制度融資には、さまざまな資金メニューがあります。新たな資金需要が見込まれる際には、ぜひ利用をご検討ください。

- ※ 金融機関に申し込み、審査後に融資が実行されます。
- ※ 原則、県信用保証協会保証付きの融資となります。

資金メニューのご紹介〈輸出入促進資金〉

輸出入のために必要となる資金にご利用いただける融資です。

- **対象** 直接輸出入業務を行う卸・小売業を営む中小企業者等
- **資金使途** 輸出品の集荷、信用状を開設する際の保証金、輸入担保荷物保管証または輸入担保荷物引取保証取引の際の保証金、輸入貨物代金の決済等
- **限度額** 5,000万円
- **融資利率** 年1.5%以内
- **融資期間** 6ヵ月以内
- **申し込み** 県内取扱金融機関

●問い合わせ

県内取扱金融機関または県金融課融資グループ ☎ 045(210)5677、金融相談員 ☎ 045(210)5695
ホームページ <http://www.pref.kanagawa.jp/osirase/kinyu/seidoyushi/seidoyushi.html>

★ KIPでは、経営総合相談窓口〔☎ 045(633)5200〕と資金支援課〔☎ 045(633)5066〕で制度融資に関する相談をお受けしています。申請に必要な事業計画書の作成なども含め、お気軽にご相談ください。

県内で障害者雇用に
積極的に取り組む
中小企業事業主の皆さま

「かながわ障害者雇用優良企業」を 募集しています！

県では、平成22年度から、県内で障害者雇用に積極的に取り組む中小企業等を、「かながわ障害者雇用優良企業」として認証する制度を新たに創設し、認証企業を募集しています。障害者雇用に積極的に取り組まれている中小企業事業主の皆さまの申請をお待ちしています。

◆ 「かながわ障害者雇用優良企業」とは…

次に掲げる要件をすべて満たしている企業等です。

- ① 企業全体の常用雇用労働者数が300人以下であること。
- ② 県内における事業所所在地集計の障害者雇用率が3.6%以上であること（常用雇用労働者数56人未満の企業については、障害者を2人以上雇用していること）。
- ③ 特例子会社ではないこと。
- ④ 労働関係法規を遵守していること。
- ⑤ 公序良俗に反する事業を行っていないこと。

◆ 「かながわ障害者雇用優良企業」になると…

- ① シンボルマークなどを会社案内や名刺等に使用できるので、「かながわ障害者雇用優良企業」であることを対外的に明示することができます。
- ② 県がホームページ等を通じて企業名や取組内容などを広く紹介します。
- ③ ハローワークの求人票の会社特性欄に、「かながわ障害者雇用優良企業」であることを記載できます。



かながわ障害者雇用優良企業

◆ 申請にあたっては…

- ① 申請者：中小企業等の主たる事業主
- ② 申請時期：随時受け付けています
- ③ 必要書類：
 - ・ 認証申請書（ホームページからダウンロードできます）
 - ・ 会社概要（会社案内やチラシ等）
 - ・ 直近に国へ報告した障害者雇用状況報告書の写し（ただし、常用雇用労働者数が56人未満である企業等については、雇用する障害者の障害者手帳の写し）

◆ 認証企業数（H22.12.1 現在）

20法人（認証企業の取組内容はホームページに掲載されています）

● 問い合わせ 県雇用対策課障害者就業支援グループ

☎ 045(210)5871

ホームページ

<http://www.pref.kanagawa.jp/osirase/06/0614/syogai/ninsyou1.html>

かながわ障害者雇用優良企業

検索

3月の「受・発注取引あっせん相談活用」のご案内

～新規取引先・発注案件をご紹介します～

KIPでは、製造業等の中小企業の皆さまから下請取引あっせんなどのご相談をお受けする“巡回あっせん相談”を、毎月県内各地で実施しています。

この相談は、KIP職員が皆さまのお近くの開催場所に出向き、新規取引先の紹介や県内外の発注企業の動向、KIPに申し出のあった発注案件などの情報提供を行うものです。

巡回あっせん相談を契機に、新規取引先を獲得した企業も数多くあります。新規取引先の開拓をお考えの企業の皆さま。ぜひご活用ください。

※「巡回あっせん相談」は、川崎駐在事務所と相模原駐在事務所でも実施していますので、あわせてご活用ください。

●問い合わせ 取引振興課 ☎ 045(633)5067

■ 3月の開催日程

開催場所	開催日	時間
藤沢商工会議所	1日(火)	13:00～16:00
小田原箱根商工会議所	9日(水)	13:30～16:00
横須賀三浦地域県政総合センター	10日(木)	13:00～16:00
秦野商工会議所	11日(金)	13:00～16:00
平塚市役所 市民相談室	15日(火)	13:30～16:00
大和商工会議所	15日(火)	13:00～16:00
茅ヶ崎商工会議所	22日(火)	13:00～16:00
川崎駐在事務所(※1)	毎週木曜日	13:00～17:15
相模原駐在事務所(※2)	9日(水) 23日(水)	13:00～16:00

※1 川崎市産業振興会館6F
 ※2 相模原商工会議所3F相談室内
 (相模原商工会議所の専門相談として実施)

湯河原温泉



インターネット予約スタート! 万葉荘はよりお客さま本位の宿に変わります

1月20日(木)より、ホームページからインターネットで予約をしていただけるようになりました。インターネット予約の場合、2、3名様様の宿泊料金が安くなります。

また、今月から本誌読者の皆さまに、宿泊料金600円値引きを始めます。このページをフロントにお見せください。

皆さまのお越しをお待ちしています。



万葉荘の庭にも、 紅白梅が咲きました!

湯河原梅林の「梅の宴」が、今年は2月5日(土)～3月13日(日)まで、開催されます。観梅にお出かけの際は、ぜひとも万葉荘にお泊まりください。



万葉荘 おすすめの一品

寒い季節! “しょうが”茶で体の芯まで温まりませんか?

今月のおすすめ品は「しょうが茶」です。

しょうがは、漢方薬の処方にも使われ、消化促進・健胃や、免疫力のアップにも効果があるとされています。本製品は、国産しょうが100%使用、はちみつを配合して飲みやすくしております。

〈販売者：東京中浦(株)〉



定価570円
(2月は5%オフの特別価格でご提供中)

●ご予約・お問い合わせ ☎ 0465(62)3755

湯河原温泉 万葉荘 足柄下郡湯河原町土肥3-6

ホームページ

<http://www.manyoso.jp/>

万葉荘

検索

CONTENTS

- KIP重点・継続支援企業「合同報告会・交流会」のご案内 — 1
- 神奈川県中小企業再生支援協議会のご案内 — 2
- 速報「かながわビジネスオーディション2011」 — 3
- 設備貸与・設備資金貸付制度のご案内 — 3
- 企業インタビューシリーズ② — 4
- 平成22年度「神奈川県優良工場」表彰式を開催 — 5
- 伝統的工芸品展WAZA2011のご案内 — 5
- 明日の商店街を探る⑧ — 6
- 平成22年度「発注企業生産現況調査(12月調査)」結果報告 — 7
- 経営セミナー「昨今の経済情勢、消費者動向と商店経営」 — 7
- 下請法 早わかり 第12回 — 8
- “サポートかながわ”誌上相談⑩ — 9
- KIP経営革新支援研修「コーチングを知ろう」のご案内 — 9
- 技術開発のパートナー 産技センターレポート — 10
- 中小企業のためのBCP(事業継続計画)作成のススメ — 11
- 地区だより(横須賀三浦・県央・湘南・足柄上・西湘各地域県政総合センター) — 12、13、14
- 中小企業応援センターNEWS — 14
- 県中小企業制度融資をご存じですか? — 15
- 「かながわ障害者雇用優良企業」を募集しています! — 15
- 3月の「受・発注取引あっせん相談活用」のご案内 — 16
- 湯河原温泉 万葉荘 — 16